

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 日の出交通株式会社
貸切バス事業部
新潟中央観光バス

人とテクノロジーの力で 安全管理を次のステージへ

新潟県を拠点に貸切バス事業を中心に行っています。

創業以来、安全で快適な団体移動サービスで地域社会に貢献してきました。

新潟運輸グループの一員として最新車両とドライバーの技術を活かし、観光、学校行事、企業研修など多様な用途に対応した高品質バスサービスを提供。

「人と、夢と、笑顔を乗せて」をモットーに、お客様の大切な時間と思い出作りに寄り添い、心のこもったおもてなしで信頼と感動をお届けする企業です。

ご利用機器



導入のきっかけ 自動点呼システム導入で 効率化と安全性向上

当社は貸切バスの運行事業を展開しており、早朝や深夜の出庫・帰庫が頻繁に発生しています。従来の対面点呼方式では、特定の時間帯において運行管理者への負担が著しく、持続可能な体制の維持が課題となっていました。

この状況を改善するため、点呼業務の省力化と安全管理レベルの向上を同時に実現する手段として、自動点呼システムの導入を決定しました。e点呼セルフは、アルコールチェックや顔認証技術を活用することで、確実な本人確認と酒気帯びの検知が可能です。これにより、安全性を損なうことなく業務効率化を図れると判断しました。



※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

製品導入による

効果・感想

小規模事業者の救世主、 自動点呼の威力

e点呼セルフの導入により、当社の点呼業務は大幅に効率化されました。最も顕著な効果は、運行管理者の負担軽減です。同時に、ドライバーの出庫もスムーズになり、業務効率の向上につながっています。体調やアルコール管理に異常があれば即座に管理者が介入できるフローにしています。

また、点呼記録やアルコール測定データの自動保存機能は、管理業務の簡素化と記録ミスの撲滅に大きく貢献しています。

当社のような小規模事業者にとって、この自動点呼システムは非常に有益です。人員に依存せず、安定した運行管理体制を維持できる点が、事業の持続可能性を高めています。



操作性について

(ドライバー)

点呼時の血圧や体温測定で 健康管理意識が高まった

導入当初、ドライバーの間では運行管理者との直接的なコミュニケーションがなくなることへの懸念が大きかったようです。しかし、実際に使用を開始すると、システムの操作が非常にシンプルで画面の指示に従うだけなのですぐに慣れました。多くのドライバーが、想像以上に短期間でシステムの使いに慣れることができたと報告しています。

さらに、日々の点呼時に行われる血圧や体温の測定が、ドライバー自身の健康管理意識を高める契機となったのです。

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 日の出交通株式会社
貸切バス事業部
新潟中央観光バス

安全への
取り組み

機械と人の目で守る、安全運行の要

当社では、アルコールチェックに加えて、ドライバーの日常的な体調管理と、運転前後の綿密なヒアリングです。

出庫時には、単なる形式的なチェックにとどまらず、ドライバーの顔色や声の様子など、微細な変化にも注意を払っています。わずかでも体調の異変が感じられれば、安全を最優先し、業務を見合わせる判断をしています。

さらに、ドライバー間のコミュニケーションを重視し、互いの健康状態に気を配る文化を醸成しています。この「体調気づきの文化」は、組織全体の安全意識を高める上で重要な役割を果たしています。

また、定期的な安全管理講習の実施や、ヒヤリハット情報の共有を通じて、継続的な安全教育にも力を入れています。これらの取り組みにより、機械による客観的なチェックと人間の観察力や経験を組み合わせた、安全管理体制を構築しています。

このように、当社は「機械プラス人の目」という考え方を基本に据え、技術と人間の強みを最大限に活かした安全確保策を展開しています。

独自の活動

心身の健康を第一に 安全運行の礎

当社では、安全運行の基盤となるドライバーの労働環境整備に特に注力しています。勤務時間や休憩時間の適切な管理は、当然のこととして徹底しています。しかし、それにとどまらず、ドライバーの心身両面のケアを重視した独自の取り組みを展開しています。

具体的には、月1回の安全ミーティングを開催し、ドライバー間で体調管理や運転時の気づきを共有する機会を設けています。また、健康診断の結果を基にしたフォローアップ面談を実施し、ドライバーの健康状態に応じたきめ細かいサポートを行っています。これらの取り組みを通じて、身体的健康だけでなく、メンタルヘルスにも配慮した支援体制を構築しています。

当社の安全ポリシーは「安全第一は、まず働きやすさから」です。この考えに基づき、ドライバーが心身ともに健康で、やりがいを持って業務に従事できる環境づくりに注力しています。

今後の展望

デジタルと人の融合で 進化する安全管理

今後は自動点呼システムを核として、さらに高度な安全管理体制の構築を目指しています。具体的には、運行記録、車両の安全データ、ドライバーの健康状態などの情報を連携させ、デジタル×人の両面で安全を守る仕組みを整えていきたいと考えています。小規模事業者である当社の強みは、新しい取り組みへの柔軟な対応力にあります。この利点を最大限に活かし、地域のお客様に真の安心と信頼を提供できる貸切バスサービスを目指します。



東海電子
への要望

進化するシステムへの期待

アルコールチェック機器の提供にとどまらず、デジタルタコグラフやドライブレコーダーなど、他社製システムとの連携強化を強く要望いたします。点呼データと運行データの一元化は、より高度なリスト分析を可能にし、安全管理の質を大きく向上させる可能性があります。

また、運輸業界では今後も法改正が予想されます。東海電子には、これらの法改正に迅速に対応し、システムに反映していただくことを期待しています。さらに重要なのは、法改正に伴う対応策について、私たちユーザーに迅速かつ明確な情報提供をしていただけることを期待しています。

取材ご協力

日の出交通株式会社
貸切バス事業部 新潟中央観光バス

取締役 統括部長 永島 裕人 様



住所：〒950-0868 新潟県新潟市東区紫竹卸新町1927-12
URL：https://hinode-kotsu.co.jp/

※文章、写真的無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。